

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

競技は2019年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場（スタンド等）への入場について

- (1) 正面玄関入口の使用は競技役員のみとし、競技者は、メインスタンド等の入口を使用する。
開門時の入場は正面メインスタンド入口とする。
- (2) トラック内への出入りは、北西ゲートと南西ゲートを使用すること。
- (3) 更衣室への出入りは、スタンド下北入口を使用すること。

3. 練習について

(1) 競技開始前の競技場でのトラック練習

- ①8月12日（月）8：30まで ②13日（火）8：45まで ③14日（水）8：15まで
3日間ともジョグはレーン外、1・2レーンは長距離ペース走用

【1日目】

[ホームストレート]

3～6レーン＝コーナーからのスプリント練習

7～9レーン＝直線からのスプリント練習

[バックストレート] 帰路はトラック内側を使用

3レーン＝女400mH 4・5レーン＝男400mH

6～9レーン＝リレー練習

※直線でのスプリント練習はバックスタンド後方練習走路で行うこと

【2日目】

[ホームストレート]

3～5レーン＝直線からのスプリント 6・7レーン＝100mH 8・9レーン＝110mH

[バックストレート]

3～6レーン＝コーナーからのスプリント練習（リレー練習含む）

7～9レーン＝直線からのスプリント練習

【3日目】

[ホームストレート] [バックストレート]

3～6レーン＝コーナーからのスプリント練習

7～9レーン＝直線からのスプリント練習

※リレーバトン練習は1→2走と3→4走は第2コーナー、2→3走は第3コーナーで行う
各校で使用したリレーのマーク（テープ）等は必ず取り除くこと。

(2) 上記時刻以降の練習はバックスタンド後方の練習走路を使用すること。

走る方向は北から南の一方通行。逆走は禁止。個人のハードル等を持ち込まないこと。

また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する。

(3) 競技場および公園内はメデイシンボールなど、物を投げる練習は禁止。

(4) 周回道路を含む公園内では、ダッシュなどスピードを出しての練習は危険を伴うため禁止。

(5) 招集後の練習は、審判員の指示に従うこと。

(6) 走高跳、走幅跳、三段跳については準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

4. 招集について

- (1) 招集場所は、室内練習場南側に設ける。招集場所への携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信・録画機器の持ち込みは禁止する。

(2) 招集時間（競技開始時刻前の下記時刻で行う。）

	トラック	跳 躍	投 て き	棒 高 跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	90分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	80分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集所内に待機し、競技者係にて点呼を受けナンバーカード・腰ナンバーカードとスパイクピンの確認を受ける。
- (4) 点呼の代理は認めない。ただし、2種目を同時刻に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が招集所にある「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、招集所の競技者係まで提出すること。その場合に限り代理人の点呼を認める。
- (5) リレー競技について
- ①オーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。オーダー用紙は、プログラム添付のものを使用すること。
- ②オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。他種目に出場していて、多種目同時出場届の提出が完了している場合は代理でも可とする。
- (6) 腰ナンバーカードは招集所の競技者係から受けとり、パンツの右側やや後方につける。ゴール後返却すること。
- (7) 4×400mRの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (8) 男子5000m、5000mW、女子3000m、5000mWは別ナンバーカードを使用する。
- (9) 招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。
- (10) 欠場する場合は、招集開始時刻までに招集所の競技者係に、欠場届を必ず提出すること。用紙はプログラム添付のものを使用すること。

5. 番組編成及び競技の抽選について

- (1) トラック競技のレーンおよびフィールド競技の試技順は、プログラム記載通りとする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝ならびに跳躍競技の決勝については、規則に則り組合せ、レーン順・試技順を決定し、その結果を正面玄関外の記録掲示板に発表する。
- (3) トラック競技において、次のラウンドへの進出者を決める時、その最下位で同タイムが出た場合、次の方法で決定する。
- ア) セパレートコースを走る競技（4×400mRを含む）
レーンに余裕がある場合、同タイム者は次のラウンドを進める。レーンに余裕がない場合、写真を拡大し判定する。それでも判定できない時は抽選を行う。
- イ) オープンコースを走る競技（800mを含む）
同タイム者は次のラウンドに進める。

6. 競技について

- (1) 短距離競走の場合は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (2) ナンバーカードはユニホームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- (3) スパイクのピンは11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (4) 男子5000m・女子3000mと20名を超える競歩種目のスタートはグループスタートとする。
- (5) 競歩種目ではラスト1周で男子5000mWは32分、女子5000mWは35分を超える選手は競歩主任が競技を打ち切る。

- (6) 競技エリアの中に、携帯電話等の通信機器およびタブレット等のビデオ撮影機器の持ち込みは禁止する。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (7) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (8) フィールド競技の試技時間は次のとおりである。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※ 4人以上または各競技者の最初の競技

※※ 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

- (9) <バーの上げ方>

走高跳	男	1年	1m65(練) 70 75 80 85 88 以後3cmずつ上げる
		2年	1m70(練) 75 80 85 90 93 以後3cmずつ上げる
	女	1年	1m30(練) 35 40 45 50 53 以後3cmずつ上げる
		2年	1m35(練) 40 45 50 55 58 以後3cmずつ上げる
棒高跳	男	1年	2m50(練) 2m60 以降4m00まで20cmずつ、4m00以後10cmずつ上げる
		2年	2m80(練) 3m00 同 上
	女	1年	2m00(練) 2m20 以後10cmずつ上げる
		2年	2m20(練) 2m40 以後10cmずつ上げる

決勝で最後の一人となり、優勝者が決まるまでは、上記のバーの上げ方とする。

同記録による1位決定と近畿大会出場権を決定するバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

男子棒高跳練習は2m50、2m80、3m20、3m60を設定する。女子棒高跳練習は2m00、2m40、3m00、3m40を設定する。

- (10) 男女走幅跳、男子および2年女子三段跳は、Aピット（トラック側）は1組、Bピット（スタンド側）は2組とする。また、1年女子三段跳は1組（1ピット）で実施する。男子三段跳の踏切板は砂場から1年は11m、2年は12m、女子三段跳の踏切板は砂場から1年は9m、2年は10mに設置する。女子三段跳はバックスタンド前ピットで行う。

- (11) 投てき種目の計測について

次の種目の記録以下の者は、ベスト記録のみを計測する。

種目	1年男子	2年男子	1年女子	2年女子
円盤	25m	28m	15m	20m
やり投	40m	45m	20m	25m
ハンマー投	20m	25m	20m	25m

7. 競技用具について

競技用具は、やり及びポール以外は競技場備え付けのものを使用すること。やりの検査は、競技開始予定時刻の90分前より70分前まで用器具庫で行う。

8. 抗議について

抗議は総務員に口頭で申し、総務員が審判長に取りつぐ。

9. 表彰について

- (1) 決勝終了後、第3位（リレーは6位）までの種目表彰を行うので、成績発表後直ちに受賞者席(正面玄関)に集合のこと。他の種目に出場している場合は、必ず代理人が表彰係まで連絡すること。尚、4～6位にも賞状を渡すので表彰係まで取りに来ること。
- (2) 表彰式では次の表彰を行うので、該当する学校・競技者は参加すること。
男子総合、女子総合 1～8位 男女学年別総合 1～3位
- (3) 男女学年別に優秀競技者を表彰する。
- (4) 男女総合優勝校の顧問を表彰する。
- (5) 男女別・学年別学校対校とする。種目の得点は1位8点、…8位1点、とする。
更に1、2年の得点・リレーの得点を合計して総合優勝とする。

10. 近畿ユース出場者

- (1) 近畿ユースへの出場者は各学年、各種目3位までに入賞した者とする。ただし男女走高跳および男女棒高跳びは3位までに入賞した3名とする。リレー種目は6位までとする。

11. 近畿ユース申し込みについて

- (1) 近畿ユース出場が決定した選手は、表彰後直ちに正面ロビー受付にて近畿ユースの受付を行うこと。
- (2) リレー種目で近畿ユース出場が決定したチームは（学校）は、近畿ユース受付にてリレーオーダー用紙を受け取り、オーダーを記入後、顧問のサインを得て申し込みを行うこと。

12. 式典について

- (1) 返還式は第1日目の8時50分にメインスタンド前で行う。
- (2) 表彰式は第3日目の競技終了後に行う。総合の部表彰該当校の代表者、及び各種目第3位（リレーは6位）までの入賞者は必ず参加すること。
- (3) 表彰式終了後に近畿大会出場についての説明をするので、近畿ユースに出場する競技者は必ず参加すること。

13. 場所取りについて

公園事務所からの指導により、公園内での場所取りは許可された場所以外は厳禁とする。
また、競技場敷地内でも場所取り禁止エリアには場所取りをしないこと。

14. 競技場の使用について

- (1) 応援は正面スタンド・バックスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。
土盛スタンド（両サイド）はフィールド競技の応援のみの使用とする。
- (2) テントは、メインスタンド中段通路より下、及びスタンド屋根下上段の記者席から100m
ゴール側エリア・土盛スタンド前半1/2部分および電光掲示板前には設置しないこと。
各校の部旗・横断幕は、バックスタンド・土盛スタンドを使用すること。
- (3) 更衣室の使用は更衣のみとし、場所取りをしてはならない。使用後はすみやかに退室すること。
また、一切の私物を置いてはならない。
- (4) スタンド等使用した場所は各校で責任を持って清掃し、ごみ等は各校で必ず持ち帰ること。
- (5) 競技者は決められた通路から入退場すること。
- (6) 記録は、正面玄関外の記録掲示板に掲示する。
- (7) 通行禁止、使用禁止等の指示については厳守すること。
- (8) トラック・フィールド以外でのスパイクの着用は禁止する。

15. その他

- (1) 競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (2) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、新聞及び大阪陸上競技協会ホームページ（大阪高体連陸上競技部）に記載されますが、本大会関係以外には一切使用しません。

周 知 板

第 74 回近畿高等学校陸上競技対校ユース選手権大会について

期 日 9 月 1 3 日（金）～1 5 日（日）

場 所 和歌山市紀三井寺陸上競技場

総 監 督 船 津 哲 史（ 大 塚 ）

8 月 1 4 日（水）大阪総体終了後、グラウンド内にて監督より諸注意を行う。